

2022年8月5日

1

労働者協同組合法セミナーin大阪

ワーカーズコープ・センター事業団 副理事長

日本社会連帯機構 専務理事

藤田 徹

2、事例紹介

- (1) 廃校活用した協同労働の仕事おこし（栃木県那須塩原市）
- (2) 東京都地域福祉事業NAPPA（東京都江戸川区）
- (3) 鹿児島県国分ほのぼのの事業所（鹿児島県国分市）
- (4) その他の事例
 - ・アグリーン東京（東京都大田区）
 - ・まちの駅CHITOSEYA（東京都八王子市）
 - ・コミットプレイス（東京都豊島区）
 - ・とうふ工房ワーカーズ（埼玉県深谷市）
 - ・報徳ワーカーズコープ（神奈川県小田原市）
 - ・協同労働によるプラットフォーム事業（広島県広島市）

3 事例（1）

廃校を活用した協同労働による
仕事おこしとまちづくり

～ 栃木県那須町ワーカーズコープ
那須事業所の取り組み ～

4 廃校活用に至る経過

- 2017年 宇都宮大学で開催された「協同集会」で「那須まちづくり株式会社近山代表」と出会う
- 2018年 学校の厨房を改修し配食サービス開始
- 2019年 国土交通省「人生100年時代を支える住まい環境整備モデル事業」に選定
- 2020年 国土交通省「小さな拠点づくり」国土交通大臣賞を那須まちづくり広場が受賞

5 廃校活用に至る経過

- 2021年 第一次工事スタート「カフェここ」、「楽校DEマルシェ・ゲストハウスあさひのお店」オープン
- 2022年 5月第二次工事完了。7月福祉部門（児童発達支援、放課後等デイサービス、就労継続支援B型、生活支援事業）スタート。7/2開所式
- 2023年 サービス付高齢者住宅開始（予定）

6 旧朝日小学校（2016年閉校）



7 楽校DEマルシェ



8 カフェここ



9 朝日のお宿（ゲストハウス）



2022年8月5日

労働者協同組合法セミナーin大阪

10 「いちばんぼし」 (児童発達支援・放課後等デイサービス)

「すくらむ」 (生活介護・就労継続支援B型)



2022年8月5日

労働者協同組合法セミナーin大阪

11 7月2日開所式の様子



12 アルプホルン、ほか



13 事例（2） 東京都江戸川地域福祉事業所 「NAPPA」

1) 設立までの経緯

2020年4月 夜間電話相談事業スタート

2020年7月 江戸川区メンタルフレンド（かもめせんぱい）事業スタート

2022年4月 江戸川みんなのBASE「NAPPA」開所（日本財団助成金活用）

2) NAPPA概要

- ・ 組合員数 39名
- ・ 出資金 255万円

14 活動内容①

- ・子ども食堂

事情によって孤食を余儀なくされている子どもに食事の提供

- ・宿題ルーム 発達支援の必要な子ども達の宿題支援。

- ・メンタルフレンド事業(江戸川区から委託、児童相談所に関わった子どもと学生の交流

事業)の学習・活動支援の場

学生たち主体の取組「ボードゲームカフェ」等で、地域の子どもたちとの交流の場

- ・ママのお話部屋 スタッフの傾聴と分かち合い

- ・カフェの併設

15 活動内容②

- ・カフェの併設

限定ランチ、夕食、焼き菓子等 近隣住民の方にも楽しんで頂ける
メニューの提供

(フードバンクや八百屋さんとの提携で規格外野菜を利用予定)子ども
たちの調理体験やカフェのお手伝い体験。

- ・小農の取組 (子どもたちや保護者とともに)

- ・親子講座 月1回 8組程度

- ・虐待などで夜間に行き場のない人(子どもも大人も)の一時的な避難所
常駐者がいることにより、夜間の関わりも可能

- ・江戸川区のワーカーズの事務仕事の拠点

16 活動の様子①



17 活動の様子②



地域向けバザー



スタイリストによるヘアカット

2022年8月5日

労働者協同組合法セミナーin大阪

18 活動の様子③



子どもたちと畑づくり

19 活動の様子④

江戸川ベース nappa
第1回フード・パントリー
開催

日時: 8月12日(日) 16:00~18:00
場所: 江戸川ベース nappa
住所: 東京都港区芝浦一丁目1番1号 1F

お問い合わせ先: インスタグラム、LINE

お問い合わせ先: 江戸川ベース nappa
TEL: 03-5405-8116
FAX: 03-5405-8116
〒106-0031 東京都港区芝浦一丁目1番1号

江戸川ベース nappa
TEL: FAX: 03-5405-8116
〒106-0031 東京都港区芝浦一丁目1番1号

フードパントリーの取り組み

2022年8月5日

労働者協同組合法セミナーin大阪

20 活動の様子⑤



レゴプログラミング教室 無料体験会

2022年8月5日

労働者協同組合法セミナーin大阪

21 活動の様子⑥



畑の野菜、収穫して調理も体験！！

22 事例（3） 鹿児島県国分ほのぼの事業所

1) 経過①

2003年 ホームヘルパー2級養成講座の実施

2004年 訪問介護事業スタート

2005年 ほのぼのイベントを毎月実施。地域のニーズと出会う

2007年 自主学童保育事業スタート。その後各地域に広がる

2009年 子どもたちと「農」の取り組みを始める

2011年 基金訓練「社会的事業者等訓練コース」

2015年 若者サポートステーション

23 経過②と概要

2017年 放課後等デイサービス、就労継続支援B型開所

2017年 霧島生協病院院内清掃業務スタート

※その他、産直所、養蜂、萬田鶏の平飼い、杉の苗づくりなど第一次産業と結んだ展開で注目

2) 国分ほのぼの事業所の概要（2021年度末）

- ・ 組合員数 32名（就労者51名）
- ・ 出資金額 940万円
- ・ 事業高 1億2千万円

24 国分ほのぼのの写真①



ほのぼの学童



命を知る日、いただく日

25 国分ほのぼのの写真②



ほのぼのファーム

26 国分ほのぼのの写真③



ほのぼの食堂



ほのぼの農園（田植え）

27 国分ほのぼのの写真④



フードバンクの小屋



養蜂

2022年8月5日

労働者協同組合法セミナーin大阪

28 その他の事例 (1) -①

アグリーン東京 (東京都大田区)

～廃食油の回収からBDF燃料の製造～



29 その他の事例 (1) -②

- 1) 使用済み天ぷら油は捨てればゴミとして焼却処分されるが、バイオディーゼル燃料 (BDF) としてCO²削減、石油資源保護などにつながる。
- 2) 2021年度実績
 - ・ 廃食油回収量 1,410,240リットル
 - ・ ゴミ削減量 127トン
 - ・ CO²排出削減量 (軽油+重油換算) 408トン/年間
- 3) BDFはほぼ無改造でバス、トラック等ディーゼルエンジンで動かせる。天ぷらバスでワーカースコープの保育園の遠足にも活用。

30 その他の事例 (2) -①

まちの駅八王子「CHITOSEYA」
～多摩信用金庫との連携事業～



八王子市と多摩信用金庫との
連携事業でワーカーズコープが運営

31 その他の事例 (2) -②

まちの駅八王子「CHITOSEYA」 ～多摩信用金庫との連携事業～



環境に配慮した生活雑貨などの販売「毎日マルシェ」や地元食材を使ったみそ汁やおにぎりを提供する「旬菜おむすび食堂」やカフェ、「みんなの本棚」等「まち・ひと・もの」をつなぐ

2022年8月5日

労働者協同組合法セミナーin大阪

32 その他の事例 (3)

コミットプレイス (東京都豊島区)

～ひきこもり経験者の若者たちによる仕事おこし～



2022年8月5日

労働者協同組合法セミナーin大阪

33 その他の事例 (4) - ①

とうふ工房ワーカーズ (埼玉県深谷市)

～主婦たちが立ち上げたワーカーズ年商4億円の事業へ～



2022年8月5日

労働者協同組合法セミナーin大阪

34 その他の事例（4）－②

とうふ工房ワークーズ（埼玉県深谷市）

～主婦たちが立ち上げたワークーズ年商4億円の事業へ～



2022年8月5日

労働者協同組合法セミナーin大阪

35 その他の事例 (5)

報徳ワーカーズコープ (神奈川県小田原市)
～休耕地を活用した有機農業ワーカーズづくり～



2022年8月5日

労働者協同組合法セミナーin大阪

36 その他の事例（6）

協同労働によるプラットフォーム事業（広島県広島市）

～高齢者がつくるワーカーズコープの取り組み～



2022年8月5日
労働者協同組合法セミナーin大阪

ご清聴ありがとうございました